

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 047	提案機関名 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 食品残さ（特に魚の粗等）の鶏への飼料化技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 【背景】 小規模養鶏農家において自家配合飼料を給与している方から、魚粉が購入（単味）飼料の中で割高であると意見を伺った。飼料費を低減するためには、魚粉の代替品を検討する必要がある。 【内容】 魚粉の代替となる飼料（既存の飼料の組み合わせ）の調査、あるいは魚の粗等魚に由来する食品残さの飼料化技術を確立し、また、食品残さ等を給与した場合は、その生産物である卵や鶏肉の品質を調査する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	地域資源を活用した豚肉の生産方法の検討（H23～30） 地域資源を活用した鶏卵・鶏肉の生産方法の検討（H19～30）		
対応の内容等	自家配合を行う場合、魚粉の代替として利用できる飼料としては大豆粕があります。その場合、メチオニン、ビタミンB ₁₂ を添加するとよいと言われています。 また、魚に由来する食品残さの飼料化技術については平成27、28年度にマグロ加工残さを用いて検討しているところです。 マグロ加工残さ給与が採卵鶏の産卵性、卵質に与える影響についての試験も平成27年度に実施していますので、参考にしてください。		
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	産卵鶏に対する大豆粕の魚粉代替効果（日本家禽学会誌 1967）		